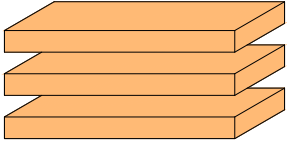
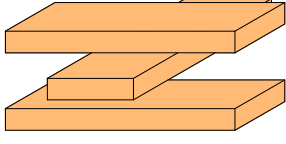
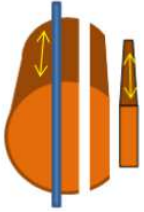


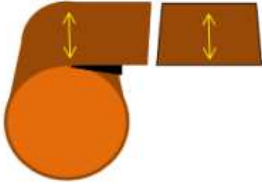




CLTとは

- CLTとはCross Laminated Timberの略称であり、ひき板（ラミナ）の層を各層で互いに直交積層し接着したパネルである。ラミナを直交積層することで寸法安定性に優れ、大断面の部材を形成することができ、高い断熱性、遮音性、耐火性がある。

繊維方向 原料	平行 	直交 
ひき板 	集成材 	CLT 
単板 	LVL 	合板 

CLT工法の特徴

- CLT工法は、パネル同士をビスや金具で接合し、パネルを組み立てるため、施工がシンプルであり、工期が短く、熟練工を必要としない
- 欧州では普及しつつあるが、日本においては、まだ数十棟しか建てられていないため、今後普及していくことが期待されている



CLTパネル建て方の様子



高知おおとよ製材社員寮(2014年3月)
(日本で初めてのCLT工法建築物)